

広報 ながはま 4月号

こどもを交通事故から守ろう



▽みぎみりでは、かならず「て」を知って、

みぎひだりのあんぜんをたしかめよう

△おうだんどうをわたるときは、しんこうをよくみて、あおになったら、みぎとひだりをよくたしかめてから、てをあげてさっさとわたろう



△おかあさんやおとうさんも、ただしいこうつうルールをみにつけよう



△わからないことは、おまわりさんにきくとよい



▽おかあさんやおとうさんが、てをとって

おしえるとよい

こどもには、正しい交通ルールを身につけさせること、おとなの日常の注意が必要です。
車を運転する人は、春季の気のゆるみとドライブマナーに要注意。
こどもの交通事故で一番多いのは、とびだしと車の直前直後の横断によるものです。ドライバーのみなさんは、とくにこのことにご注意ください。

りかえる

長 浜

所有者に折衝中

5区、9区間道路舗装
「私有地なので所有者に地区の要望を伝えてみて了解が得られれば実現する」と回答していた五区、九区間の小道（二宮製ろう前）の舗装については所有者に要望を伝え、現在回答を待っているところです。

舗装済み

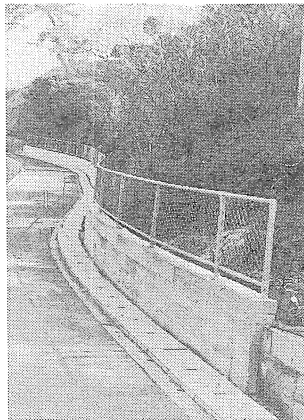
13 区 の 町 道

「使用秩序を守っていただくことを条件に舗装を計画中」と回答していた13区の町道補修については、昨年七月に補装を完了しました。

補修済み

紺屋町町道

「補修するよう計画」と回答した紺屋町町道路面の破損か所の補修については、昨年七月に補修を完了しました。



防護サクができた住吉公園登口

工法を検討中

8 区 の 町 道

「四十八年度内に補装する」と回答していた八区の山下タイヤ工場から山本氏宅間の町道舗装については、この間の道路は路面の高さ宅地、排水路の高さがまちまちであるなど、複雑な道路であるため普通の道路舗装のようなぐあいにはゆかないので現在工法などを検討中です。

まず排水路をそうじ

紺屋町裏の排水溝

「調査中であるが、早く処理するように手配する」と回答していた

紺屋町裏鉄道引込線のところの排水溝の改善については、調査の結果好ましくないもので、まずは排水路のそうじをする一方、排水管の整備をすることにしました。

防護サクでできる

住吉公園

「予算ができるまで待つてほしい」と回答していた住吉公園坂道付近の土砂崩落による排水溝などの被害防止については、昨年九月に防護サク（写真）を設けました

側溝でできる

39 区 上田鉄工所前

「舗装と合わせて取り付ける」と回答していた三十九区の上田鉄工所前から港の上がり口までの間

の道路の測溝取り付けについては、昨年二月末に工事を完了しました。
近く対処します
駅上様の木増植の件
「地主が売買の話し中なので、解決したら再交渉する」と回答していた長浜駅の上（黒田へ至る道路のかたわら）への木の増植については、まだ対処していませんが近く交渉してみます。

新しく作って配付済み

各区設置用の住民簿

「作成する」と回答していた各区備え置き用の住民簿の作成については、回答の通り新しく作成した。ご活用ください。



利用者や商店街のため現状維持となった駒手町バス路線

駒手町バス路線変更せず

「商工会と相反した要望が出ていたので、両者の意見を調整した上で再処したい」と回答していた駒手町バス路線変更については、路線を変更すると利用者が不便になるほか、商店街への影響があるため変更申請はしないことになりました。

49年度早々に設置 水揚地区消防ホース乾燥塔

「四十八年度内に設置する」と回答していた水揚地区への消防ホース乾燥塔の設置については、都合により年度内に設置できませんでしたので四十九年度早々に設置します。

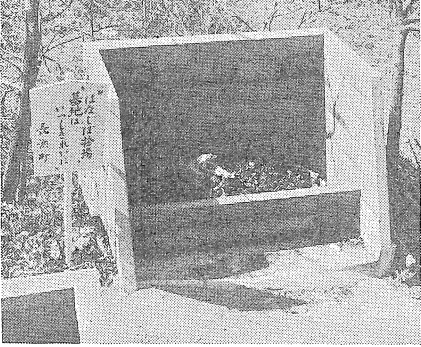
予算通れば49年度に 水揚船着場の改修

「工法を検討中なので、これが決まりしだい計画を立てて実施する」と回答していた水揚船着場の改修については、現在予算要求をしているので、これが通れば実施します。

信号機設置 現状では無理

37 区、34 区交差点

「県の所管事項なので、大洲警察署へ調査を依頼する」と回答していた三十七区の豊田商店前と三十四区の和田登さん方前の交差点への信号機設置については、同警察署にたずねた結果、「あの程度の交通量および道幅では、他にまだまだ必要にせまられているか所が



あるのであとになる。危険度の高い所から順に設置することになっているので了承願いたい」ということでした。

はなしば捨て場できる 山際墓地

「適当な設置場所を検討している」と回答していた山際墓地への墓参の際の花木類焼却場設置については、本紙四十八年十二月号の四ページでもお知らせのように、昨年十一月に花しば捨て場を二か所につくりました。

青 島

舗装を完了

青島道路百メートル

「全体的に調査し、四十八年度か四十九年度に修理する」と回答していた青島の四十四区から四十一区に通じる裏側大道路と、四十一区から四十二区に通じる大道路、四十二区中央から新坂止場に通じる大道路の計百メートルの道路舗装については、昨年末に補装を完了しました。

沖 浦

舷川の水で 51 区 の 防 火 水

「計画を立て、国や県へ補助の申請をして随時実施してゆく予定」と回答していた五十一区（小浦地区）への防火水そう設置については、検討した結果、この地域は舷川が近いので、この川の水を利用することになりました。

このようなはなしば捨て場を2ヶ所につくりました

約束をふ

したことが、どのようににどれだけ実施されたか、三月十五日現在でいっしょに見てみることにしました。

なお、要望は全部で六十一件でしたが、このうち行政連絡会における回答で了承いただくものを除くと、本欄で結果を紹介できるものは三十五件です。

一次計画では 取付け不可能 有放スピーカー

「自動化計画の段階で検討する」と回答していた沖浦と小浦地区への有線放送スピーカー取付けについては、一次計画の段階では屋外スピーカーは旧施設を利用することになったため取付けは不可能となりました。（旧施設は予備線がないため増設不可能）なお、二次計画でさらに検討します。

まさ土を入れ整地

こどもの遊び場

「検討する」と回答していた公民館横のこどもの遊び場の整地については、昨年十月にまさ土を入れて整地しました。

町道改修と合わせて検討

51・52・53区の下水道

「財源見込みのつきしだい着工する」と回答していた五十一区、五十二区、五十三区への下水道設置については、一部の町道改修事業も計画なので、これと合わせて検討することにしました。

喜多灘

引き続き折衝中

海岸線県道の改修

「県へ強く要望している」と回答していた喜多灘地区海岸線県道の改修については、県に対し引き続き折衝中。

引き続き試案を協議中

駅付近海岸の消波堤設置

「長浜町全体の海岸保全についての試案を検討中で、この海岸も含まれている」と回答していた喜多灘駅前付近の海岸への消波堤設置については、引き続き試案を協議中。

戸数少なく無理

66区NHKテレビ 難視対策

「現地を調査する」と回答していた六十六区（今坊の橋立浜地区）のNHKテレビ難視対策については、現地を調査した結果、難視戸数が五、六戸であり少数のため、必要施設の設置は無理と思われる。

櫛生

引き続き折衝中

櫛生川護岸の改修

「県へ強く要望している」と回答していた櫛生川の護岸の改修については、県に対し現在も引き続き折衝中。

ガイドレール付く

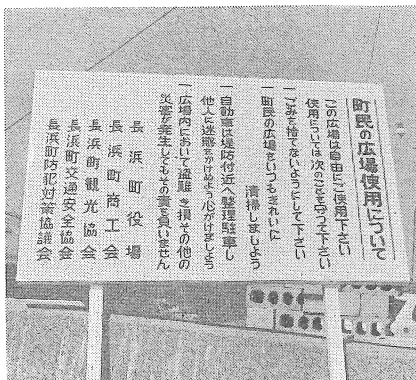
漁協裏の県道

「県へ要望している」と回答していた櫛生漁協裏の県道へのガイドレール取付けについては、昨年十月に設置しました。

出 海

駐車できる広場 完成

「長浜大橋たもとと河川敷利用を計画して建設省と合議中」と回答していた公営駐車場対策については、建設省から同敷地利用の許可が降りました（駐車場としての許可ではない）ので、同地に「町民の広場」という名称で、駐車もできる広場をつくり三月一日にオープンしました。



町民の広場使用について立札もたちました

相 生

排水路つくる

柿の久保林道起点付近

「十分処理できていると思われるが、不都合の点があればお知らせ願いたい」と回答していた柿の久保林道起点付近の排水対策については、この二月に惣瀬地区排水路の関連事業として排水路を設備しました。

引き続き折衝中

県道横断排水ヒ ューム管の補修

「県へ要望している」と回答していた県道を横断している排水ヒューム管の補修については、県に対し引き続き折衝中。

惣瀬排水路で 解消するはず

泉田氏宅前の水田排水

「県へ要望しており、採択されしだい実施する」と回答していた泉田幸雄氏宅前の水田の排水路新設については、この二月に惣瀬排水路をつくったので、これが同水田排水の用もなすと思われます。

引き続き折衝中

惣瀬谷三方張工事の促進

「県に助成を要望しているが、なかなか採択されない。今しばらく待っていただきたい」と回答していた惣瀬谷の三方張工事の促進については、引き続き県に助成を要望して工事をすすめたい考えです。

白 滝

大洲市との関 連あり検討中

本郷・長尾間町道開設

「ルート決定に苦心しているの用地確保に協力いただきたい」と回答していた戒川の本郷から長尾間の町道開設については、大洲市との関連があり、種々の問題点があるので、今後の問題として検討中。

取り替え終われ ば 赤水 解消

白滝上水道

「配水管を取り替えるので」と回答していた白滝上水道の濁水対策については、三月十五日現在取り替え工事中で、これが完了すれば濁水（赤水）は解消すると思います。

野犬処理と合 わせて 対処

のらねこ対策

「法的取締り策がないので、よい方法はないか検討する」と回答していたのらねこ対策については検討した結果、やはり、野犬毒殺と合わせて処理する方法しか見当たらない。よい方法があればお知らせください。

いたずらサルご用

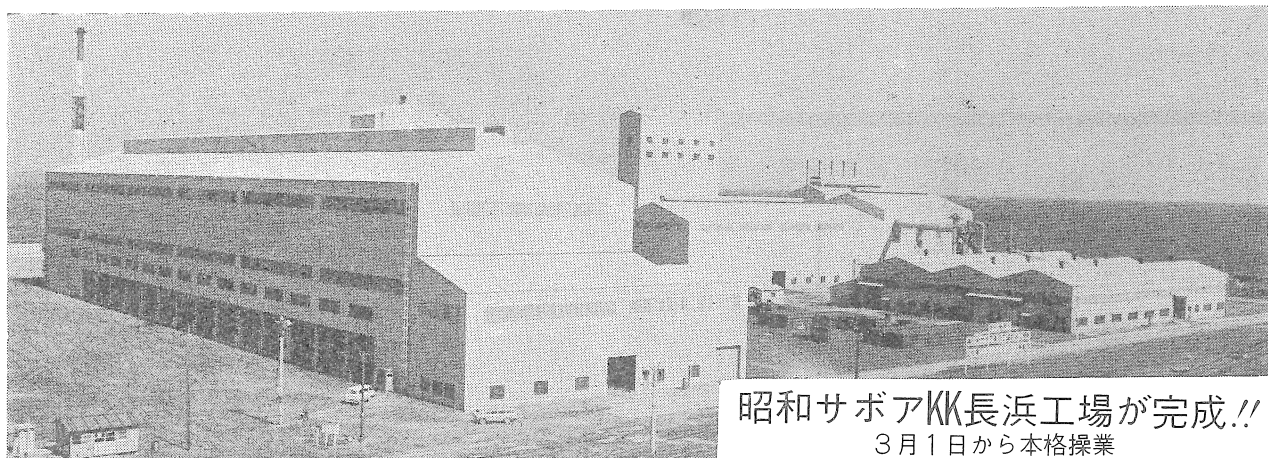
「捕獲方法を検討してみる」と回答していた戒川方面でシイタケを荒らしていたサルの捕獲については、その後サルが大洲市平野に移動したところで捕えられました。なお、予想では二、三匹いるとされていましたがその後被害が出ていないところから、犯サルは一匹だけのようです。

そのほか

申請に基づき 順次設置

街 路 灯

沖浦と相生地区から出されていた街路灯設置の要望については、正式な申請（町商工課への申請書提出）によって順次設置してゆくようにしています。



昭和サボアKK長浜工場が完成!!

3月1日から本格操業

昭和サボア株式会社社長長浜工場が完成、三月一日から本格操業にはいりました。

いうまでもなく同工場は、長浜町の臨海工業開発第一期計画による誘致工場の中核をなすもの。

そこで、完成した同工場について、もう一度あらましを紹介しておきましょう。

同工場は、北ベトナム、ホンゲイ産の無煙炭コークスなどを原料として、アルミ工業用のカソード・カーボン・ブロック（炭素電極）年産二万一千トン、ラミング・ペースト同七千トン製造、年間工場出荷額約四十億円を目指しています。

新工場は同臨海工業団地のうちの七万六千八百二十二平方メートルの敷地に、総事業費約六十億円をかけて、さる四十七年七月着工、成型、焼成、加工の三工場（延べ合計一万五千四百平方メートル）が約一年半がかりで完成。内部には、仮焼炉五基、四千五百トンプレス一基、焼成炉四十四基、加工機五台、バッグフィルター十五基などの施設を備えているほか、一万トンの船が接岸できる専用岸壁も備えています。

とくに心配される公害防止施設については、町と締結した防止協定に基づき、ばいじん、粉じんについてはバッグフィルター、電気集じん機、排水については循環使用、洗じょうろ過槽の使用、硫酸化物については高煙突設置、騒音は防音壁を備えるなど、協定による施設を完備しています。

なお、同工場は今後も拡張計画をもっており、五十一年末には炭素電極三万トン、ラミング・ペースト一万トンの製造を予定しており、従業員も二百人余りになる予定です。（現在約百五十人）

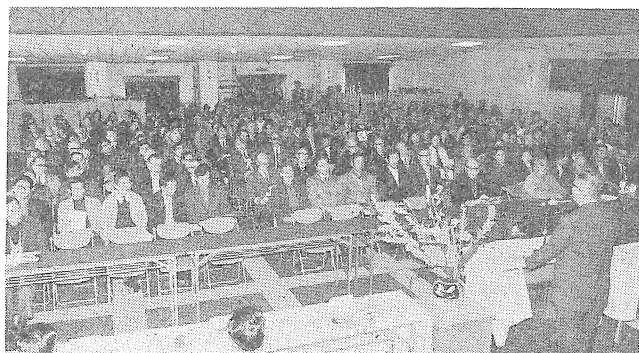
公害不安の声に答える

261席
人出席

昭和サボア工場の説明会開く

晴海の昭和サボア株式会社社長長浜工場（柴田信大社長、資本金八億円）は、三月一日に竣工式を終え本格操業にはいりましたが町と昭和サボア社では、これを前に、町内のみならずこの工場に対して理解を深めてもらおうと同時に、公害などに対する不安を解消していただく意味で、町内の各種団体の代表約七百人に案内状を出して、去る二月二十二日、長浜町体育館で説明会を開きました。

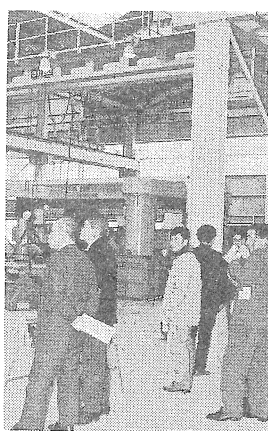
その結果、会には案内者のうち二百六十一人が出席。また、町からは、三役ほか係長以上の職員、昭和サボア社から柴田社長、野本工場長ら約二十人が出席しました



柴田社長のあいさつに耳を傾ける出席者

まず西田町長が「工場の完成により町発展の足がかりができた。町発展に同工場が寄与するものと思う」とあいさつ。続いて柴田社長が「地域社会に貢献したい」とあいさつしました。

このあと会社側がパネルやスラ



工場内を見学する出席者

的にチェックを行い完備している（会社）。

質問 工場の煙突からの亜硫酸ガスにより、開花期のミカンに影響があると聞けどうか。

答弁 基準の十分の一に抑えてあるので実害はない。（会社）。

質問 産業廃棄物の不法投棄は防げるか。

答弁 不法投棄しないよう指導する。（会社）。

質問 公害防止施設は良心的に運転してもらえないか。

答弁 企業の社会的責任と信頼を痛感しているの良心的に運転する。期待にこたえたい。（会社）。

質問 大気の大気の自動測定結果は公表されるか。

答弁 町が測定しているの、町のたより（広報ながはま）で公表したい。（町）。

質問 排水に関する測定結果は公表されるか。

答弁 公害防止協定の通り、監視権は町にあるので十分監視したい。公表の必要なものについては公表することはやぶさかでない。（町）。

質問 住民がだまされたというようなことのないよう、企業の社会的責任と誠意を望む。

答弁 みなさんの期待を裏切らないよう、あらゆる機関の協力を得て問題の起こらないよう努力する（町）。むづかしいことにも十分対処できるよう施しているの信頼をお願いしたい。（会社）。

質問 煙突から出る有害物質の収集方法は？

答弁 電気集じん器を取り付けているので非常に低い量しか排出されない。（会社）

質問 公害防止計画書の通り公害防止施設は完備されているか。

答弁 協定に基づき、専門

意見投書ふえる

— 48年度中 「声の箱」 利用状況 —



日ごろ町政に対して発言の場をもてない人、あるいは、口頭で言いにくい意見や要望をもっておられる人のために、町では四十七年四月から、町内各地区（全部で十七か所）に「声の箱」なる投書箱を設けています。

そこでことしも四十八年度中の利用状況をまとめてみました。

その結果、四十八年度は前年度に比べて投函された投書数は三通少ない二十通でした。また、昨年度は苦状や要望が多かったのに比べて、ことしは参考になる意見が多く見られました。

このほか詳しい状況は下記の通りですが、投書の内容については本紙に掲載した見出しそのままで紹介いたしますので、思い出してみて下さい。

自衛消防隊を (仁久の東明さんから)
もっと利用しよう声の箱 (高校生K・Tさんから)
矛盾感じる保育料 (1主婦から)
悪いことはやめよう (M生さんから)
ごろうさん (昔外地で強制清掃人になった男...から)
がっかりした水族館 (長浜の主婦から)
善処された危険場所 (白滝の久保田芳枝さんから)
金婚者に祝福行事を (白滝の久保田芳枝さんから)
納得できない固定資産税 (長浜の高田金助さんから)
当直医のあり方今一度検討を、 (下須戒の主婦から)
この青さいつまでも (観光客から)
ゴミ落さないように (無記名)
小浦団地にポストスーパーを、
小浦地区NHKテレビ見えるように... (小浦団地住人から)
なんとかならぬ不幸の手紙... (ある主婦から)
教室にストーブを (三人の中学生から)
販売価格監視員置いては (出海の宮内徳太郎さんから)
(未掲載および掲載しないもの) 4 通

投書内容 (掲載見出し)

月別投書数		設置か所別投書数	
48年	4月 ... 2 通	役場本庁前	4 通
	5月 ... 1 通	長 浜 山 際	4 通
	6月 ... 1 通	本町2丁目	2 通
	7月 ... 4 通	長 浜 駅	0 通
	8月 ... 2 通	青 島 漁 協	0 通
	9月 ... 1 通	黒田ミカン倉庫	0 通
	10月 ... 1 通	沖 浦 農 協	1 通
	11月 ... 0 通	喜 多 灘 農 協	0 通
	12月 ... 1 通	櫛生・坂東武男さん方	0 通
49年	1月 ... 2 通	須沢・西岡勝さん方	0 通
	2月 ... 2 通	出海・吉井元則さん方	1 通
	3月 ... 3通(未掲載)	下須戒・東富幾子さん方	1 通
	計 20通	上老松・成光停留所	0 通
種類別投書数			
意 見	11通	豊茂小学校前停留所	0 通
苦情・要望	8通	白 滝 駅	3 通
質 問	0通	柴・山中猪喜男さん方	0 通
その他	1通	戒川・後藤照三さん方	1 通
計	20通	その他	3 通
		計	20通

2月15日開函した声の箱に 次のような投書がは
いていましたので本欄で取り上げました

販売価格監視員置いては

……宮内 徳 太 郎 (出海)

声：優先府県では、政府の国民生活物資の価格安定政策に協力をしていくように聞いているが、長浜町でも監視員（生活物資販売価格監視取締り委員会地方委員）を置き、お互いの連絡を取り合って町内の物資物価の安定に協力していただけないでしょうか。

お答え：昨年十二月に開いた行政連絡会でも同じような意見がありました。このところの物価値上がりの影響を受けた生活情勢をみると、もっともなご

意見だと思えます。

ところで、このことについては国の指導で、都道府県の段階ですでにとも監視員を設置する制度を取り入れ、愛媛県でも石油等は生活安定対策本部（三月一日からは生活安定対策本部）を設けて七十八（三月一日からは百人）の監視員を配置して、監視活動がなされていることはご存知だと思います。

しかし、このことを町の段階で実施することになりますと、一つ

の壁があることに気づき再検討中です。

その壁とは、監視員の権限のことです。つまり、国（通産省）の指導による都道府県段階の監視員ならそれなりの権限が与えられているため効果があると思われるが、これが市町村が独自で設置したものになりますと、効果的な権限がありませんので、有名無実に終わるおそれがあるということです。

必要なことですが、こういった問題点もありますので、このことについては今しばらく情勢をみながら効果的な対策を検討させていただきます。

農地の転用 勝手にできません

ミカン価格の暴落や一般生活物資の値上がりなどで生活が苦しくなり、町内でも最近、農外収入を求めて外に職をもたれる方が多くなってきました。これに伴い、少しの農地をもつ中途半ばな農業をしているより、勤めに出た方がよくなったので農業はやめた、ただし、土地は売りたい、ないので田や畑にはスギかヒノキでも植えようか……などと考えている人が多くなっています。しかし、ご注意ください。農地は無断で転用することは法律で禁止されています。

その法律とは「農地法」と「農業振興地域の整備に関する法律」の二つで、いずれも農地を守る立場から必要なことが定められています。このうち最近つづられた農業振興地域の整備に関する法律では、各市町村が、地域的に農業を推進する地区、住宅にする地区、工場にする地区などに区分けして、それぞれその土地に一番適した目的を定めて、それに添って事業を推進することになっております。したがって、たとえば自分の土地だからといって広い田の中へ点々と住宅を建てたり工場を建てたりすると、農地が切れぎれになつて一還した農作業や機械化をすすめることもできなくなるなど、農業の振興が阻害されるため、これらのことを防ぐため設けられているのです。

長浜町では、旧長浜町地域の平坦部のほか、住宅地内以外の農地はほとんど農業振興地域に指定されており、農業振興地域の整備に関する法律が適用されていますから、くれぐれもご注意ください。

火事相次ぐ

レポ ー ト 2月

なんと7件も

いずれも異常乾燥注意報発令中

原因

- 草焼き中の引火……………2
- 煙突の火の粉……………2
- タバコの投げ捨て……………1
- ストーブの火の引火……………1
- 不明……………1



火事はそのほとんどが人の不注意によるもの。火の元には常に細かい注意を

三月三日に上老松の下成地区でストーブの火の飛び火から民家三戸を全焼、三世帯十五人が焼け出される大火事があったがその前の二月には、なんと七件もの火事が発生、山林約四・六畝、住宅約十平方メートルを焼いた。また、これらの消火に出動した消防団員は五百八十三人にも及んだ。

七件のうちわけは、山林三件、住宅三件、漁具一件であるが、いずれも異常乾燥注意報発令下の出火であったことに強い反省が求められる。

また、直接の原因をみると、山火事は、草焼きの火の引火、タバコの投げ捨て、住宅は、煙突の火の粉、ストーブの火の引火（ストーブを燃えるものに近づけて置いた）であり、いずれも火を扱う者のちょっとした不注意である。と同時に、気象条件や火をあたったということも無視できない。このほか、長浜港付近で木製のイケスが焼ける火事があったが、これは原因がわかっていない。

過去をみて

現在を考え

未来を豊かなものに

ともあれ、一か月に七件もの火事が発生したということは、当町始まって以来の記録で、まさに非常事態といっても過言ではない。消防団としても対策に頭を痛めているようだが、結局は、私たちひとりひとりが不注意をしないよう気をつけること以外に方法はないことであろう。

なお、次のような点はとくに守っていただきたいもの。

- ①異常乾燥注意報が発令されていたり、強風のときは、山焼きやたき火はしないこと。
- ②火を扱う場所には必ず水か消火器を備えること。
- ③寝る前には必ず火の元を点検すること。とくにふろの火や煙突には注意を払うこと。
- ④吸い終わったタバコの火は完全に消すこと。

豊かな生活づくりに意見活発

公民館研究大会 開く

これからの公民館活動はどのようにあるべきか①家庭教育の充実について（家庭の日、しつけのありかた）②健康づくりについて（生活改善と体力づくり）③地域づくりをどうするか（余暇、花づくり推進）を研究主題とした第七回長浜町公民館研究大会が二十四日、中央公民館で開かれた。大会には公民館役員、区長、民生委員、学校長、PTA役員、老人クラブ会員、婦人会員、青年団員ら約百三十人が参加。分科会や全体会を通して研究をした。全体会で集約された各分科会での意見は次の通り。

△第一分科会▽

家庭教育の充実について

①家庭の日について▽カレンダーは大変よいアイデアであるが、回収に問題がある▽カレンダーは地区住民の意見を聞いて作ってほしい▽家庭の日は家庭が忙しくなるほど親子の断絶があるので

必要だ。



<分科会風景>話し合った意見をもとに話の輪が広がる

②しつけについて▽子どもに耐え忍ぶ精神、物を大切にすることを教える必要がある▽子どもは大人のうしろ姿を見て育つので、親の学習が必要である▽子どもを教育するうえにおいて、いわゆるおふくろの味とおやじの

味がなくなっている（助言者）▽家庭にやすらぎのふんいきがない。これでは人間性豊かな子どもは育たない。（助言者）▽子どもに家族の一員であるという意識をもたせ、連帯感を育てる必要がある。（助言者）▽しつけをするうえで、子どもに対する親のことは使いに注意してほしい。（助言者）

△第二分科会▽

健康づくりについて

▽健康づくりには食生活が大切だ▽インスタント製品より自然食を▽麦ごはんを食べよう▽早寝早起きが大切▽栄養バランスのとれた食事と精神衛生が大切▽総合病院がほしい▽学校給食を完全に実施するようお願い。

△第三分科会▽

地域づくりをどうするか

①余暇について▽会を開いても人が集まらず、人集めに苦労する▽量より質が大切▽一つの目標を持って当たるとよい。

②花づくりについて▽花づくり運動を家庭の日カレンダーに取り入れてはどうか▽花づくりは、つくらせるというより、つくるという気持が大切▽町の花木は目立つ所へ植えること。また、記念樹などの際に使うとよい。

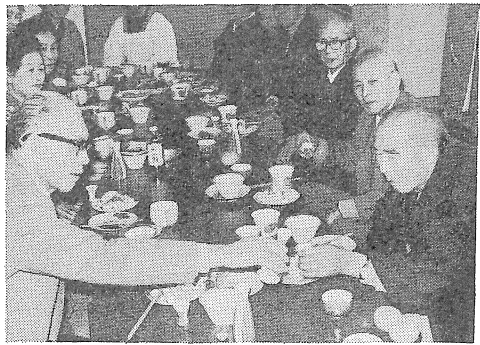
こよみ

レポ ー ト

この欄は別記レポート以外のものを主に順に簡単に報告したもの、保健衛生事業は省く。

4日：①民生委員協議会開き、四十九年度母子福祉について、したく資金貸付について、婦人民生委員研修のことなどについて協議

表彰



27日…老人ホームのお年寄り家庭を一般家庭やき敬んと
公館に招待し、家庭のわゆる員さんと
を味わい、写真実演で楽しいひと
をのちの手づから料理を（体育館で）

表彰



団員57人 一般5人 1団体

消防、防災活動に尽力

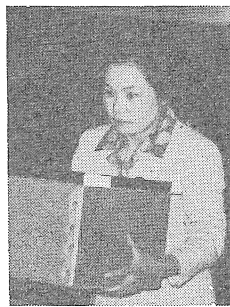
49年消防団出初め式表彰

次の方々は、消防防災活動に力を
を尽くしたことにより、三月十日
長浜中学校で行われた四十九年出
初め式の席上表彰されました。

団員表彰

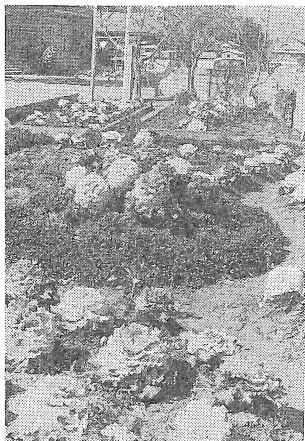
日本消防協会長表彰 二宮義徳
（沖浦）。愛媛県知事表彰 鎌田
賢一（沖浦）。立脇宇之助（青
島）。愛媛県消防協会長表彰 井
上武夫（黒田）、沖江良二、二宮
昭天（以上沖浦）、谷井豊吉（櫛
生）、中村優、平見一芳、山田幸
太郎（以上出海）、上田嘉明（豊

茂）、西山仙一
（白滝）、松本
正夫（戒川）。
喜多郡消防団連合会長表彰 合田
正憲（長浜）、小西功（黒田）、
井上義治（沖浦）、山根養一、津
田久光（以上今坊）、増田僧太郎、
中村多志男、河内満男、村上仁
幸、桑野公志（以上櫛生）、河野
保、平野巖、石山悦弘、水田千
利、河内清則（以上出海）、入船
満男、中川敏男（以上上下須戒）、
徳山増司（柴）。長浜町長表彰 山
下一仁、上田正志、合田正憲、
亀井福男、坂本敏徳、西本幸雄（以



内助の功賞を受ける次
家照子さん

上長浜、播磨明（青島）、小西功
（黒田）、井上義治、沖江晴夫、
（以上沖浦）、山根養一（今坊）
沢井謙二、酒井国雄（以上出海）
谷本尚光、松田孝幸、竹田謙信
（以上須戒）、平野巖、石山悦弘、
水田千利、
河野保、河
中清則（以
上出海）、
入船満男、
中川敏男（
以上上下須戒
）、叶岡亀
（上老松）



いつも美しい柴小学校の花壇

郷土づくりに成果
をあげたことにより、三月六日、大
洲市で開かれた大
洲市・喜多郡生活
環境美化推進大会
の席上、県生活運
動推進協議会長か
ら表彰されました
大野校長が着任
してからの柴小学
校では、同校長が

14日…出海幼児学級開く。十七
人出席。こどもの育て方について
学習。
15日…町体育館で喜多郡中小学
校教頭研修会開く。
16日…町内母子家庭の中学卒業
児童激励会開く。卒業児童十九人
18日…出石寺観光ゾーンに備
え、郷の峠付近に案内板を設置。
20日…①食品衛生講習会開く。
町内の小売店から三十三人出席。
②大洲市の福祉会長、市議会議員
の一行十四人が長浜町の隣保館活
動を視察。
21日…①緑化運動にちなみ、住
吉公園にツツジ三十本植える。
26日…長浜町社会福祉協議会
の役員会開く。会の活動について
徳山増司、上田義次（以上柴）

一般表彰

消防団員家族の模範となる内助
の功表彰 次家照子（長浜）
一般協力者表彰 八早期発見・早
期通報・初期消火 矢野サトミ
（仁久）、徳田二郎（沖浦）。
八早期通報 浦上茂（長浜）。
八人命救助 後藤高市（今坊）。
八防火夜回り実践 港こども会
（出海）

大野柴小学校長

美化活動に功績
柴小学校の大野時明校長（五九）
は、環境美化に力を尽くし豊かな

学習 ②出海婦人学級開く。三十人
出席。料理実習行う。
27日…①柴家庭教育学級開く。
二十人出席。親の態度について学
習 ②PTA評議委員会開き、四十
九年度事業計画など協議 ③長浜町
消防団分団長会開く。
28日…①長浜町教育委員会開き
四十九年度予算についてなど審議
②今坊婦人学級開く。四十七人出
席。増田助役の「町政と婦人の役
割」と題した講演をもとに学習。
そのほか…①二月中の心配ごと
相談所利用者十一人（これまでの
最高）②二月中の野犬および不要
犬買上げ三十四頭。

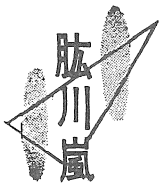
矢間さんららららら

公民館活動に功績
つぎの方々は、公民館活動に力
を尽くしたことにより、二月二十
四日、中央公民館で開かれた第七
回長浜町公民館研究大会の席上、
長浜町教育委員会から表彰されま
した。
矢間善男（今坊）、木下慶喜
（下須戒、宇都宮吉幸（豊茂）亀
井かな子（青島）、横道政雄（黒
田）

長浜協協3部で優勝

第8回県クラブ駅伝で
長浜体協チームは、三月三日に
行われた第八回県クラブ対抗駅伝
競争大会に出場し、3部（十四チ
ーム参加）でみごと優勝、チーム
結成以来初の優勝旗を手にしまし
た。

△出場選手名▽ 森川純行（白
滝）、森川光雄（白滝）、菊地秀国
（豊茂）、菊地茂利（櫛生）、玉井
義幸（白滝）、徳山和敬（白滝）
菊地洋一（穂積）。



春たけなわ。たけなわなどということばは古めかしくて、わかりやすくいえといわれてもちょっとまだ多くの人が使っているようだ。もちろんその意味はまっ盛りということ。物資不足でも物価高でも、春がくるとやっぱりウキウキと気持はよい。昔の人は財布(さいふ)を買うのは春に限るとしたもので、財布の中実が張ると縁起をかついだものだろう。その反対に秋は空(あ)き財布(さいふ)買(か)うものではないというまぐろ(まぐろ)を合せている▲このような縁起を信じるか信じないかは別問題として、春はなんとなく心も浮き立ち、物見遊山もおそらく物価高など尻目に旅館やバスなど早く予約をしておかないと、予定変更の懸念にあわないとも限るまい▲ところで、最近はお金のさがふえたせいか、金回りがよいのか、春財布も秋財布も持たずにハダカ銭をあちこちのポケットにねじこんで出ある人(ほとんど男性であるが…)が多いように見受けられるハダカ銭は失くしやすくなりすりとられやすい。旅先でちょっとあかぬけした女性に近づき、小半日楽しくつきあって別れて気がついてみたら、尻ポケットのハダカ銭2万円なりをとられていたという男がある。物資不足物価高のおりだ、物を大切に使うことももちろんだが、金をもっと大切にする方が先決ではなからうか。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう。



	3月1日現在	前月との比較
人口	14,057人 (男6,674人 女7,383人)	12人減 (4人減 8人減)
世帯数	3,958世帯	3世帯減



寄附

- 下須成の日野頼道さん(四九)：現金二万円を大和公民館へ。
○榊生の清水棟さん(四三)：現金二万円を衛生公民館へ。
○榊積の菊地道乗さん(三六)：現金二万円を大和公民館へ。
○長浜一区の矢野隆男さん(四九)：現金十万円を町社会福祉協議会へ。
○沖浦の二宮英二さん(四一)：現金五万円を町社会福祉協議会へ。
○長浜三十三区の清水寿美男さん(四五)：現金一万円をまごころ銀行へ。
○豊茂の笠間忠明さん(五〇)、久保トラコさん(五九)、増本富士さん(四七)、菊地宗男さん(四〇)、久保兼雄さん(四六) 故丸又坂男さん(当時九

○、平井太源さん(六五)：それぞれ金一封を豊茂公民館へ
○四国海運KK(本社宇和島)：「水防団用」と、救命具十個を町へ。



寄付された救命具は49年出初め式でさっそく使用されました。

豊茂小に校旗届く
通称「校旗おばあさん」から
豊茂小学校に、このほど今治市に住む寺尾チヨノさん(八十一歳)通称校旗のおばあさんという人から豊茂小学校校旗が送られてきました。
このおばあさんは、昨年六月ごろ「校旗のおばあさん」というニックネームで愛媛新聞に紹介されたとのこと。
聞くところによると、このおば



結婚

2月長浜町役場
届出分(敬称略)

住 所	氏 名	婚 姻 届 時 年 齢
豊茂市	河野照男	(二二)
松山市	森清子	(二二)
大分県	二宮進	(二二)
下須成	藤本泰治	(二四)
下須成	水本恵子	(二五)
沖浦	杉上茂広	(五七)
沖浦	金三男	(二二)
長浜	吉岡桂子	(二二)
長浜	古本照子	(二二)
長浜	金平津子	(二二)

あさんは日ごろ社会奉仕活動、全国教育父母の会、育英会などの役職につとめるかたわら節約して余ったお金をたくわえ、これがある程度たまると、あちこちの校旗のない学校や、新しい校旗が必要になった学校に校旗をつくって送ったり、社会福祉資金に寄付しているという奇特なおばあさん。
同校では、おばあさんの精神を見習い、送られた新しい校旗のもとに愛校心を養いたいといっています。

お誕生おめでとう!!

2月届出分(敬称略)

住 所	氏 名	続 柄	児 名
長浜	成田啓一	長男	善明
長浜	松石之道	長男	善明
長浜	川崎繁樹	長女	理恵
長浜	竹村和弘	長女	結花
長浜	谷浦富雄	二女	恵美
長浜	矢野和俊	二女	芳
長浜	戎賢也	長男	優之輔
長浜	鶴地敏江	長男	亨憲
長浜	田中賢市	長女	志穂
長浜	大田利雄	長女	紫合里
長浜	西田豪	長男	有輝
長浜	須谷元通	長女	真由美
長浜	中野健一	長女	美香
長浜	中川亀郎	三男	伸二
長浜	鎌田久夫	二女	はるみ

おくやみ

2月届出分(敬称略)

住 所	氏 名	死 亡 時 年 齢
長浜	矢野文子	(六二)
長浜	成田善明	(一〇〇)
長浜	上田時治郎	(七六)
長浜	青野初義	(六〇)
長浜	宮本イマエ	(七九)
長浜	坂本孝行	(五二)

×××3月号×××
訂正
訂正数ですが
訂正ください

五ページ「もうすぐ一年生」の記事の四十九年新入学児童数の表で、大和第一小学校とあるのは大和第一小学校、大和第一小学校とあるのは豊茂小学校、或川小学校とあるのは成川小学校の誤り。
八ページ「寄付」の記事で、大和第一小学校とあるのも大和第一小学校の誤り。

今 奥島ヨシヨ	(八三)
今 池田徳春	(五二)
今 堀本成夫	(七五)
今 下坂金蔵	(七二)
今 菊地石五郎	(六八)
今 下坂朝勝	(七七)
今 日野市太郎	(七七)
今 菊地朝男	(九一)
今 丸又坂男	(八五)
今 平井トヲノ	(七二)
今 森下八重子	(五四)
今 滝清水猛	(九四)
今 川武知	(九四)